

モンゴル経済トピック（2009年7月）

今月の主なトピック

- オヨートルゴイ銅・金鉱床開発投資契約に関する国家大会議決議案が採択（経済）
- ボルガン県で新たなモリブデン鉱床を発見（エネルギー）

詳細は各項目を参照

1. 経済

- 2日、モンゴル証券取引所とモンゴル中小企業庁は、中小企業振興を目的とした中小企業支援基金を共同で設立する覚書に署名した。同基金では、中小企業経営者を対象とした相談窓口の設置及びセミナー開催などを行う予定である。（ZM3）
- 世界銀行がモンゴル国南部のインフラ戦略に関する報告書を纏めた。同報告書では、モンゴルは同国南部にある石炭及び銅などの鉱床開発により、毎年50億米ドルの利益を得ることが可能であるが、そのためには、輸送用の鉄道敷設、発電所及び水供給施設の建設など、少なくとも約50億米ドルのインフラ整備が必要であるとしている。（ZM8）
- 8日、デンベレル国家大会議長はオリヴィエ・デカンプ欧州復興開発銀行（EBRD）ビジネスグループ・ディレクターらと会談し、今後3年間の協力戦略プログラムに関する協議を行った。会談でデカンプ・ディレクターは、オヨートルゴイ鉱床開発の投資契約が締結された場合には、インフラ整備に対し資金援助を行う関心があることを表明した。（ZM9）
- 国家統計委員会は2009年上半期の経済・社会指標を発表した。それによると2009年上半期の貿易総額は16億5,570万米ドル、貿易赤字は前年同期比35.4%減の1億2,990万米ドルとなった。財政赤字は前年同期比2,564億トグログ増の2,613億トグログ。また2009年6月の通貨供給量は前年同期比5.5%減、前月比0.8%増の2兆4,246億トグログ。消費者物価指数は前月比では1.4%下落し、前年同月比では6.3%上昇した。（ZM15）
- 16日、国家大会議の本会議において、オヨートルゴイ銅・金鉱床開発投資契約に関する国家大会議決議案が採択され、同投資契約締結の権限が内閣に付与された。同決議案の主な内容は以下の通り。
 - ・ 国のオヨートルゴイ銅・金鉱床の株式保有率の下限を34%とする。
 - ・ 投資契約を現行の法令に則って締結する。

- ・ 初期投資回収後、国の株式保有率を 50%以上とすることに関し、投資家側との合意形成を内閣に課す。
(US17)
- ウヌードウル紙は 24 日、モンゴル国の外貨準備高が 7 月 22 日の時点で 7 億 8,600 万米ドルに達したと報じた。(UN24)
- 23 日、ガンスフ道路・運輸・建設・都市計画省副大臣とモンゴルを訪問中の陸東福・中国鉄道部副部長は、今後の鉄道開発における協力計画覚書案にそれぞれ署名した。同協力計画ではモ・中両国の東部地域を結ぶ鉄道の建設が計画されており、実現すればタバントルゴイ鉱床からサインシャンドを経由し、朝鮮半島に到達することが可能になるという。(UN24)

2. 経済協力

- EU とフィンランド赤十字協会の支援により、社会的弱者支援計画が 2009 -2012 年にかけて実施されることが決定した。ウランバートル市内の 6 つの区のほか、バヤンホンゴル及びバヤンウルギーなど 4 つの県に居住する貧困家庭及び単親世帯などを対象者としてゲルの提供などが行われる予定である。支援総額は 10 億トグログ以上と見られている。(US30)

3. 金融

(特記事項なし。)

4. 貿易等

(特記事項なし。)

5. インフラ

(特記事項なし。)

6. エネルギー

- モンリソース社がボルガン県セレンゲ郡ハンドガイトで新たなモリブデン鉱床を発見した。現在のところ埋蔵量は約 2 万トンと見られている。また同鉱床ではレアメタルの一種であるレニウムの埋蔵も確認されている。
(UN15)

7. 教育

(特記事項なし。)

8. 農牧業

(特記事項なし。)

9. 保健医療

- 23 日、アジア開発銀行 (ADB) の資金援助により、スフバートル区総合病院に新しい医療機器が供与された。モンゴル政府は ADB の支援を得て、保健分野開発計画を進めており、今回の機材供与もその一環として行われた。2009 年 8 月下旬には、理学療法機器など総額 74 万 4,000 米ドル相当の医療機器をウランバートル市内の各医療機関に供与する予定である。
(SH24)

10. 環境

(特記事項なし。)

11. 情報通信

(特記事項なし。)

※括弧の中の記号は新聞名と日付を表す。

(US ウドゥリーン・ソニン紙、ZM ゴーニー・メデー紙、UN ウヌードゥル紙、MM モンゴリン・メデー紙、TR ウネン紙、AE アルディン・エルフ紙、SH ウンデスニー・ショーダン紙)

(了)